

-(으)ㄴ지라

～なので（古文の理由）

-(으)매と同じく古文調の理由です。小説や随筆で見かけます。

■ つけ方

品詞	形	例
形容詞	-(으)ㄴ지라	바쁘다 → 바쁜지라
動詞（現在）	-는지라	하다 → 하는지라
過去	-(으)ㄴ지라	늦은지라
名詞	인지라	학생인지라
近い形	-(으)니까	現代語
続けて書く	지라 は語尾	바쁜지라

■ -(으)매 とどう違うか

理由を示します。워낙 바쁜지라 연락을 못 드렸습니다（あまりに忙しかったのでご連絡できませんでした）。

매 より使用範囲が広いです。-(으)매 が碑文や宣言文に限られるのに対し、-(으)ㄴ지라 は小説の地の文や、やや古風な会話にも現れます。

言い訳の文脈でよく使われます。「そういう事情なので」と丁寧に説明する場面です。

現代語では -(으)니까 や -아서/어서が対応します。

■ 例文

- 1

워낙 바쁜지라 연락을 드리지 못했습니다.

何しろ忙しかったので、ご連絡できませんでした。
- 2

사정을 잘 모르는지라 뭐라 말씀드리기 어렵습니다.

事情をよく知らないなので、何とも申し上げにくいです。
- 3

이미 늦었는지라 서둘러 봐야 소용없었다.

すでに遅かったので、急いでも無駄でした。
- 4

처음 있는 일인지라 모두가 당황했다.

初めてのことだったので、皆が慌てました。
- 5

부품을 직접 만드는지라 시간이 걸립니다.

部品を自分で作っているので、時間がかかります。
- 6

워낙 조용한 성격인지라 눈에 띄지 않았다.

何しろ静かな性格だったので、目立ちませんでした。

■ 紛らわしいもの

-(으)매
より古く 格式が高い形です。지라 は小説や会話にも現れます。
종으매（碑文） / 종은지라（小説）

-(으)니까
現代語の理由です。지라 は古風な響きです。
바쁘니까（現代） / 바쁜지라（古風）

-(으)ㄴ/는 터라
事情を説明します。지라 と近い働きで、こちらのほうが日常的です。
바쁜 터라 / 바쁜지라

■ まちがえやすい点

- ✕ 학생지라

○ 학생**인지라**

名詞には 인지라 をつけます。
- ✕ 바쁜 지라

○ 바쁜**지라**

語尾なので続けて書きます。
- ✕ 친구야, 바쁜지라 못 갔어.

○ 친구야, 바빠서 못 갔어.

日常会話では 아서/어서 が自然です。